

札幌市保育人材支援センター運営業務 企画提案説明書

1 業務名

札幌市保育人材支援センター運営業務（令和５～７年度）

2 業務方針

平成 28 年度に設立した「札幌市保育人材支援センター さぼ笑み」（令和 3 年度に「札幌市保育士・保育所支援センター」から改称。以下「さぼ笑み」という。）は、令和 3 年度に、支援対象職種の拡大、マッチングシステムの導入、合同施設説明会・面接会等を実施したほか、センターの市内中心部への移設、開所時間の拡大など、機能強化、利便性の向上を図り、札幌市の保育人材確保の拠点化を推進したところである。

令和 5 年度からは、令和 3 年度以降の事業内容を基礎としながらも、さらなる運営改善等を図り、より「保育人材の確保」という事業効果に特化して事業を推進していく。

3 業務内容

別紙「企画提案仕様書」のとおり。

4 業務委託期間

令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

5 契約限度額

総額 121,026 千円（単年 40,342 千円×3 年）（消費税及び地方消費税を含む。）

※この金額は現時点での予算規模を示すものであり、契約は別途設定する予定価格の範囲内で行う。

6 企画提案を求める事項

(1) 基本的認識に関すること

札幌市における待機児童対策・保育人材確保に関する取組や、保育士職の現状・課題等に関して基本的な認識を示すこと。

(2) 業務遂行能力に関すること

業務の計画性や組織体制、同様の業務実績、引継ぎ等を具体的に示すこと。

また、さぼ笑みに置く「事業責任者(センター長)」「職業紹介責任者」「保育士再就職支援コーディネーター」は実務の核となる職員であることから、想定する人物、略歴等を示すこと。

(3) 保育人材の採用数の増加に向けた運営の工夫及び年間目標採用数

令和 3 年度に実施した さぼ笑み の機能強化、利便性の向上等により、登録求職者数・求人件数ともに、従前を上回っており、利活用が進みつつある一方で、本業務が最も重視すべき、最終的な保育人材の採用数には課題が残っている。採用数の

向上のための具体的な運営の工夫及び年間目標採用数を示すこと。

【さぼ笑みの運営実績】

	R 1	R2	R3	R 4（参考）
登録求職者	152	102	243	(90)
求人件数	485	334	771	(282)
採用数	57	52	71	(35)

※R4（参考）は、R4. 9. 30までの実績

(4) 札幌市保育園ミーティングにおける参加者増加に向けた運営の工夫等

令和3年度から、さぼ笑みの事業メニューの一つとして、「札幌市保育園ミーティング」として、「合同施設説明会・面接会」を実施している。イベントをきっかけとして、さぼ笑みの登録求職者数・保育事業者数が増加するなど相乗効果を生んでいるが、より集客（求職者）を図るための運営の改善が必要である。このため、運営方法、効果的な広報活動のあり方等を示すこと。

また、ミーティングの前後に、園長等の管理職、人事担当者等を対象として、「人材確保・定着化研修」を実施するため、研修の企画内容を示すこと。

(5) 広報に関すること

さぼ笑み事業の認知度について、保育士等の求職者にヒアリングを実施したところ、「知っていた」と答えたのは、3割に満たなかった。さぼ笑みの運営は、まずは求職者に認知してもらい登録することからスタートするものであるため、認知度の向上、広報活動の充実が不可欠である。効果的・効率的な広報のあり方を示すこと。

(6) その他

潜在保育士の再就職支援に関する研修の企画内容、個人情報の保護について示すこと。

7 参加資格要件

本業務を効果的かつ効率的に実施することができる法人であり、次に掲げる全ての要件を満たすものとする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であり、かつその者を代理人、支配人、その他の使用人として使用する者でないこと。
- (2) 審査基準日の直前1年間において、1期の決算における製造、販売、請負等の実績高がある者。
- (3) 不渡手形又は不渡小切手を発行して、銀行当座取引を停止された者で、2年以上経過しない者でないこと。
- (4) 市区町村税又は消費税・地方消費税を滞納している者でないこと。
- (5) 札幌市暴力団の排除の推進に関する条例第2条第2号に規定する暴力団員又は同条例第7条に規定する暴力団関係事業者ではないこと。
- (6) 札幌市競争入札参加資格者名簿に登載され、かつ以下のアからウの要件を満たした者であること。

ア 同一の企画競争において、事業協同組合等の組合と当該組合員とが同時に参加

していないこと。

イ 会社再生法による更生手続き開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続き開始の申立てがなされている者（手続き開始決定後の者は除く。）等経営状況が著しく不健全でないこと。

ウ 札幌市競争入札参加資格審査等措置要領に基づく参加停止の措置を受けていないこと。

(7) 有料職業紹介事業所の許可を得ている者、または、令和5年4月1日までに有料職業紹介事業所の許可を得ることができる見込みがある者であること。

8 スケジュール

	日程	内容
1	令和4年12月7日（水）	告示
2	12月15日（木）	質問受付
3	12月21日（水）	参加意向申出書提出期限
4	12月28日（水）	企画提案書提出期限
5	令和5年1月上旬	書類審査（企画提案者が6社以上の場合のみ）
6	1月中旬	プレゼンテーション審査及び質疑応答
7	1月中旬～下旬	業者選定及び通知
8	1月中	契約締結予定

9 質問及び回答

(1) 提出方法

企画提案に係る質問書（様式2）により下記「20 提出・問合せ先」あて電子メールで問い合わせること。電話や窓口での質問は受け付けない。

(2) 受付期限

令和4年12月15日（木）17時00分（必着）

(3) 回答

令和4年12月16日（金）以降、ホームページで公開する。回答の内容が質問者固有の提案事項に密接に関わる場合は、質問者に対してのみ回答する。なお、受付期限内に到着しなかった質問書については回答しない。

10 参加意向申出書の提出

(1) 提出書類

企画提案参加意向申出書（様式1）1部

(2) 提出期限

令和4年12月21日（水）17時00分（必着）

(3) 提出方法

下記「20 提出・問合せ先」あて郵送又は持参

※郵送の場合は、送付後に到達を確認すること。

※直接提出する場合は、平日の9時00分～17時00分に持参すること。

※参加意向申出書の提出以降に参加を辞退する場合は、下記「20 提出・問合せ先」あて連絡すること。

11 企画提案書等の提出

(1) 提出書類

	書類名	必要部数
ア	企画提案提出書（様式3）	1部
イ	競争入札参加資格認定通知書（写し）	1部
ウ	企画提案書 ・ A4判（書式及び枚数は自由）とする。 ・ 正本1部、副本8部	9部
エ	業務費用内訳書 ・ A4判（書式及び枚数は自由）とする。	9部
オ	上記ウ及びエのPDFデータ（DVD等）	1部

(2) 提出期限

令和4年12月28日（水）17時00分（必着）

(3) 提出方法

下記「20 提出・問合せ先」あて郵送又は持参

※郵送の場合は、送付後に到達を確認すること。

※直接提出する場合は、平日の9時00分～17時00分に持参すること。

(4) 留意事項

ア 提出書類等の作成及び提出に係る費用は申込者の負担とする。

イ 提出書類等に虚偽があった場合は失格とする。

ウ 提出のあった書類等は返却しない。

エ 同一の申込者からの複数の企画提案書の提出は認めない。

オ 審査の公正を期するため、企画提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマーク等、参加者を特定できる表示を付さないこと。

12 選定方法

札幌市保育人材支援センター運営業務 企画競争実施委員会（以下「実施委員会」という。）において、別添「評価項目及び評価基準表」により、総合的に審査し、最も優れた企画提案者を契約候補者として選定する。

(1) 参加資格

「7 参加資格要件」に基づき確認を行う。

(2) 書類審査

ア 企画提案者が6者以上となった場合は、提出された企画提案書に基づき実施委員会による書類審査のうえプレゼンテーション候補者を5者まで絞る。

イ 書類審査の結果は、確定後速やかに企画提案者全員に通知する。

(3) 実施委員会によるヒアリング

下記の通り、企画提案者によるプレゼンテーションに対するヒアリングを行い、契約候補者1者を選定する。

ア 出席者は3名以内とする。

イ 持ち時間は35分（プレゼンテーション20分、質疑応答15分）程度とし、本市の指示した時刻から順次個別に行う。なお、当日の割当時間帯等の詳細は、別途、通知する。また、新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、オンラインでの開催を検討するため、対応できるようにすること。

(4) その他

ア 提案者が1者となった場合、実施委員会が定める最低評価基準点（総合得点の6割）以上の場合のみ、契約候補者として選定する。

イ 実施委員会による採点が同点となった場合、委員全員の協議により契約候補者を選定する。

ウ 選定した事業者には決定通知を、落選した事業者には落選通知を送付する。

13 契約

本業務の実際の業務内容は、企画提案書に基づき委託者と契約候補者による協議によって決定するため、企画提案書の内容がそのまま実際の業務内容とはならないことに留意すること。また、契約候補者が「7 参加資格要件」のいずれかに該当しないこととなった場合、契約を締結しない場合がある。契約候補者との交渉が不調に終わった場合、実施委員会において次点とされた提案者と交渉する場合がある。

14 参加資格の喪失

企画提案者が参加資格を有することを確認したときから審査が確定するまで（契約候補者については契約を締結するまで）の間に、次のいずれかに該当した場合は、提出された企画提案に関する評価は行わず、又は契約候補者としての選定を取り消すこととする。

(1) 参加資格を満たしていないことが判明し、又は満たさないこととなったとき

(2) 提案書類に重大な不備や虚偽の記載をしたことが判明したとき

(3) 不正な利益を図る目的で実施委員会の委員等と接触し、または、利害関係を有することとなったとき

15 失格事項

以下のいずれかに該当した者は失格とする。

(1) 提出書類の提出期間、提出場所、提出方法、記載方法等が本提案説明書及び各様

式にて定めた内容に適合しなかった者

- (2) 審査の公平性を害する行為をした者
- (3) その他、本提案説明書等に定める手続き、方法等を順守しない者

16 参加資格等についての申立て

本企画競争において参加資格を満たさない、または満たさないこととなった等の通知を受けた日の翌日から起算して10日（札幌市の休日を定める条例で規定する休日を除く。）以内にその理由等について書面により求めることができる。

17 評価についての申立て

企画提案者は自らの評価に疑義があるときは、選定結果の通知を受けた日の翌日から起算して3日（札幌市の休日を定める条例で規定する休日を除く）以内に、自らの評価について書面により疑義の申立てを行うことができる。

18 著作権等に関する事項

- (1) 企画案の著作権は、各企画提案者に帰属する。
- (2) 札幌市が本業務の実施に必要と認めるときは、企画案を札幌市が利用（必要な改変を含む。）することを許諾するものとする。この場合は、あらかじめ企画提案者に通知するものとする。
- (3) 企画提案者は、札幌市に対し、企画提案者が企画を創作したこと及び第三者の著作権、著作人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権を侵害するものではないことを保証するものとする。
- (4) 企画提案の利用について、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、企画提案者は、自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ札幌市に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

19 その他

- (1) 企画提案に係る一切の経費は参加者の負担とする。
- (2) 提出期限後の提出、差替え、変更、再提出及び追加を認めない。

20 提出・問合せ先

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階
札幌市子ども未来局 支援制度担当部 保育推進課 保育企画係 山吹、亀苔

TEL:011-211-2346 FAX:011-231-6221 E-mail:hoiku-suishin@city.sapporo.jp

評価項目及び評価基準表

別添

評価基準点は、「5点：非常に優秀 4点：優秀 3点：普通 2点：やや劣る 1点：劣る」とし、「評価基準点×係数」により評価点を求めるものとする。なお、参加者が1者となった場合でも、別に定める最低基準点を超えた場合は契約候補者とする。

評価項目		評価内容	係数	評価点
基本的認識	趣旨・背景の理解	札幌市における待機児童や保育士職の現状、課題等について理解し、企画内容はそれらに対する札幌市の取組内容を踏まえたものとなっているか。	×1	5
業務遂行能力	計画性	4月1日の開設から、本業務が適切かつ円滑に実施できる内容になっているか。	×1	5
	組織体制	業務の遂行にあたり必要となる専門性を有した、適切な体制がとられているか。特に、「事業責任者(センター長)」「職業紹介責任者」「保育士再就職支援コーディネーター」について、想定する人物、略歴が示され、事業効果を向上させるような人材を登用していると考えられるか。	×4	20
	業務実績	過去に同様の業務や事業に取り組んだ経験があり、十分な業務実績があるか。	×1	5
	引継ぎ	現行受託者との引継ぎについて、適切な実施方法が示されているか。また、受託期間終了時、次の受託者に対する引継ぎについて示されているか。	×1	5
年間目標採用数及び運営の工夫	運営の工夫	採用数の向上のための具体的な運営の工夫、その根拠等が示されており、実際に効果が望めるような内容となっているか。	×3	15
	年間目標	年間目標採用数、その根拠が示されており、達成可能と見込めるか。	×2	10
保育園ミートインの運営等	運営の工夫	参加者(求職者)を増やすための具体的な運営の工夫(広報を含めて)、その根拠等が示されており、実際に効果が望めるような内容となっているか。	×2	10
	研修の企画①	人材確保・定着化研修について、対象者のニーズに応じた、効果が見込める内容となっているか。	×1	5
広報	効果	保育士等の求職者にとってさば笑みの認知度を向上させるような効果的・効率的な広報の方法が示されており、実際に効果が望めるような内容となっているか。	×2	10
その他	研修の企画②	潜在保育士の再就職支援に関する研修について、対象者のニーズに応じた、効果が見込める内容となっているか。	×1	5
	個人情報の保護	「札幌市個人情報保護条例」に沿った管理上の対策等が具体的に提案されているか。	×1	5
			合計	100